

講義科目 : 社会福祉援助技術演習Ⅱ	単位数 : 4
担 当 : 千坂 克馬	学習形態 : 選択科目
	社会福祉士必修科目
	実務経験 : 有
	* 第2学年で履修

講義の内容・方法および到達目標

- 社会福祉援助技術について学んできたことを実際にやってみて、考察し、それをまとめ、発表し、意見交換を重ねることにより理解を深めてゆきます。
- 2人で、あるいはグループで援助技術に関する演習をおこない、その結果をまとめ、それを発表することによりそれぞれの援助技術の概要を理解し、その意味と目的の理解を目標とします。

授業計画

- それぞれの項目を1回から数回の授業でおこなう予定です。ただ、演習なので予定通りにいかないことも多いので、授業進行の速度はその都度調整させていただきます。

第 1 回 オリエンテーション：自己紹介と将来の夢

第 1 部 自己開示とコミュニケーション

第 2 回 対話の中のコミュニケーション：ストレスチェックと面接

第 3 回 対話の中のコミュニケーション：実習の中でのコミュニケーションを振り返る

第 4 回 表現のための支援：アートセラピー

第 5 回 グループワーク：役割を演じる

第 2 部 アセスメントと支援仮説

第 6 回 レポート発表と質問紙法：質問紙に基づく面接

第 7 回 検査法Ⅰ：検査の実施 プランニングと同時処理

第 8 回 検査法Ⅱ：検査の実施 注意と継次処理

第 9 回 検査法Ⅲ：検査結果の見方と評価に基づく認知特性の理解

第 10 回 アセスメントレポートの作成

第 3 部 支援とその評価

第 11 回 アセスメントレポートの発表

第 12 回 課題分析：ジョブコーチ

第 13 回 応用行動分析

第 14 回 インシデントプロセス

第 15 回 支援計画の作成と発表

教材・テキスト・参考文献等

レジュメを準備します。

成績評価方法

- 各部の最後にレポートの提出をお願いします。
- 評価は学習態度50%、レポート内容50%です。

実務経験

社会福祉法人の児童福祉施設及びNPOにて勤務。保育士及び心理士としての実務経験をもとに社会福祉援助技術についての演習をおこないます。